

2019年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月28日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岸野 誠人
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部部长 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666
 四半期報告書提出予定日 2019年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第3四半期の業績 (2018年5月1日~2019年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年4月期第3四半期 | 8,444 | 1.7 | 368 | △27.5 | 386 | △26.6 | 216 | △36.2 |
| 2018年4月期第3四半期 | 8,305 | 2.8 | 508 | 22.4 | 526 | 23.1 | 339 | 38.1 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年4月期第3四半期 | 26.80 | - |
| 2018年4月期第3四半期 | 42.01 | - |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年4月期第3四半期 | 6,760 | 5,208 | 77.0 |
| 2018年4月期 | 7,106 | 5,089 | 71.6 |

(参考) 自己資本 2019年4月期第3四半期 5,208百万円 2018年4月期 5,089百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年4月期 | - | 9.50 | - | 6.00 | - |
| 2019年4月期 | - | 6.00 | - | - | - |
| 2019年4月期(予想) | - | - | - | 6.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2017年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2018年4月期合計に関しましては、第2四半期期末配当と株式分割後の期末配当であるため単純合計できませんので記載しておりません。

3. 2019年4月期の業績予想 (2018年5月1日~2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,500 | 3.8 | 734 | 10.5 | 750 | 8.5 | 445 | 5.1 | 55.14 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年4月期3Q | 8,186,400株 | 2018年4月期 | 8,186,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年4月期3Q | 116,658株 | 2018年4月期 | 116,658株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年4月期3Q | 8,069,742株 | 2018年4月期3Q | 8,069,776株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 1 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| (会計方針の変更) | 6 |
| (会計上の見積りの変更) | 6 |
| (修正再表示) | 6 |
| 3. その他 | 7 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期(2018年11月1日～2019年1月31日)における外食業界は、人手不足に伴う人件費の高騰と原材料価格及び物流費の増加等により、厳しい経営環境が続いております。

当社における第3四半期累計期間の業績は、売上高84億44百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は3億68百万円(同27.5%減)、経常利益は3億86百万円(同26.6%減)、当期純利益は2億16百万円(同36.2%減)となりました。売上につきましては、第3四半期の既存店売上が前期比101.5%と今期スタート時から回復傾向にあります。(対前期比第1四半期98.9%、第2四半期100.9%)特に女性のお客様とお酒のあるシーンでは、新たに投入したラクレットチーズを活用したメニューとステーキメニュー(牛肉・羊肉)の展開により、客数回復に繋がっております。

また、社内コンテストからトレンドの中に上質さを加え誕生した「椿屋プレミアムブレンド」を開発し、椿屋珈琲全店へ導入した事も、客単価を押し上げる要因となりました。コスト面では前期に創店した店舗の減価償却費75,092千円が大きく影響しているほか、給与のベースアップ等に伴う人件費増、物流費の上昇の影響を受けております。また、3月末日でショッピングセンターの撤退に伴い閉店が決まった横須賀ショッパーズプラザ内にあるダッキーダック、ぱすたかんの退店及び不採算店の減損損失も計上いたしました。店舗での事務作業軽減に伴うペーパーレス化や物流コストの見直し等、合理化・効率化を進める上で重要な会議体の変更も行い、業務推進のスピードアップにも取り組んでおります。引き続きコストを吸収するための知恵を出して、業績回復に繋がられるよう努めてまいります。

昨年12月に発足したインターネット販売におきましては、椿屋ブランドを全国の方々に知って頂くための新商品開発を行いました。椿屋珈琲の看板メニューである「椿屋特製ビーフカレー」「金のチーズケーキ」「プラチナレアチーズケーキ」を楽天市場椿屋珈琲店の新たなラインアップに追加し、今後の売上の拡大を目指してまいります。



設備投資につきましては、完全無添加のスパゲッティ生麺を製造している戸塚カミサリーにおきまして、インターネット販売用の新商品「椿屋特製ビーフカレー」及びイタリアンダイニングDONAグループの好調をうけて、製造設備の増設を行う計画であります。

新規創店におきましては、11月にはイタリアンダイニングDONA三ツ境ライフ店、椿屋カフェ武蔵小杉店を、12月には椿屋カフェみなとみらい店をオープンしてファンづくりに努めているほか、第4四半期に入っては2月7日に椿屋カフェ京急百貨店上大岡店を創店しております。今期最後の4月には現在改装休業中のダッキーダックカフェアトレ松戸店を新業態でオープンできるよう店舗設計、デザイン、メニュー構成等の刷新を行っております。

ここまでなかなか奮わない業績となっておりますが、締めくくりの第4四半期ですので「入るを量りて出ざるを制す」という諺にもある通り、コスト面の改善を一番に業務効率化を進めていき、業績向上に努めて参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて3億61百万円減少し、16億24百万円となりました。これは、現金及び預金が2億28百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、51億36百万円となりました。これは、建物が61百万円、工具、器具及び備品が40百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて3億45百万円減少し、67億60百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2億87百万円減少し、10億14百万円となりました。これは、未払金が1億2百万円、未払賞与が1億13百万円、未払法人税等が1億14百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1億77百万円減少し、5億37百万円となりました。これは長期借入金が1億50百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億64百万円減少し、15億52百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億19百万円増加し、52億8百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月31日に公表いたしました、2019年4月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2018年4月30日) | 当第3四半期会計期間 (2019年1月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,268,904 | 1,039,966 |
| 売掛金 | 115,524 | 111,644 |
| SC預け金 | 297,823 | 239,191 |
| 商品及び製品 | 38,071 | 35,043 |
| 原材料及び貯蔵品 | 81,442 | 84,507 |
| 前払費用 | 125,088 | 111,572 |
| その他 | 59,541 | 3,170 |
| 貸倒引当金 | △482 | △367 |
| 流動資産合計 | 1,985,915 | 1,624,728 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,198,738 | 1,260,330 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 390,577 | 430,724 |
| 土地 | 939,000 | 939,000 |
| リース資産(純額) | 115,656 | 70,701 |
| その他(純額) | 137,726 | 140,260 |
| 有形固定資産合計 | 2,781,699 | 2,841,018 |
| 無形固定資産 | 24,183 | 28,483 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 21,372 | 22,506 |
| 繰延税金資産 | 241,886 | 241,786 |
| 差入保証金 | 420,007 | 412,465 |
| 敷金 | 1,588,793 | 1,547,435 |
| その他 | 42,307 | 42,438 |
| 貸倒引当金 | △2 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 2,314,364 | 2,266,629 |
| 固定資産合計 | 5,120,247 | 5,136,131 |
| 資産合計 | 7,106,162 | 6,760,860 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2018年4月30日) | 当第3四半期会計期間 (2019年1月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 254,503 | 190,135 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 21,410 | 150,000 |
| リース債務 | 69,294 | 51,908 |
| 未払金 | 470,080 | 367,089 |
| 未払賞与 | 113,702 | - |
| 未払費用 | 129,328 | 82,775 |
| 未払法人税等 | 152,032 | 37,684 |
| 未払消費税等 | 62,161 | 66,700 |
| 預り金 | 27,781 | 6,982 |
| 賞与引当金 | - | 55,816 |
| 資産除去債務 | - | 3,528 |
| その他 | 2,045 | 2,096 |
| 流動負債合計 | 1,302,339 | 1,014,717 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 150,000 | - |
| リース債務 | 61,388 | 27,047 |
| 退職給付引当金 | 308,223 | 325,381 |
| 資産除去債務 | 174,039 | 163,941 |
| その他 | 20,984 | 20,984 |
| 固定負債合計 | 714,636 | 537,355 |
| 負債合計 | 2,016,975 | 1,552,073 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 673,341 | 673,341 |
| 資本剰余金 | 683,009 | 683,009 |
| 利益剰余金 | 3,819,852 | 3,939,263 |
| 自己株式 | △100,429 | △100,429 |
| 株主資本合計 | 5,075,772 | 5,195,184 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,414 | 13,602 |
| 評価・換算差額等合計 | 13,414 | 13,602 |
| 純資産合計 | 5,089,187 | 5,208,787 |
| 負債純資産合計 | 7,106,162 | 6,760,860 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自2017年5月1日 至2018年1月31日) | 当第3四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 8,305,783 | 8,444,765 |
| 売上原価 | 2,220,215 | 2,273,275 |
| 売上総利益 | 6,085,567 | 6,171,490 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,576,840 | 5,802,756 |
| 営業利益 | 508,727 | 368,733 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 89 | 77 |
| 受取配当金 | 599 | 592 |
| 受取家賃 | 19,467 | 19,000 |
| その他 | 3,284 | 3,499 |
| 営業外収益合計 | 23,441 | 23,168 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,412 | 2,618 |
| 不動産賃貸原価 | 1,272 | 1,782 |
| その他 | 1,029 | 1,257 |
| 営業外費用合計 | 5,713 | 5,658 |
| 経常利益 | 526,455 | 386,244 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 63,421 | - |
| その他 | 770 | - |
| 特別利益合計 | 64,192 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 58,966 | 7,054 |
| 減損損失 | 12,184 | 46,955 |
| 特別損失合計 | 71,150 | 54,010 |
| 税引前四半期純利益 | 519,497 | 332,234 |
| 法人税等 | 180,474 | 115,985 |
| 四半期純利益 | 339,022 | 216,248 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。